



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和5年9月5日(火)		岐阜県発表資料	
担当所属	担当係	担当者	電話番号
森林活用推進課	森林サービス産業支援係	鈴木藤代	内線 4345 直通 058-272-8472 FAX 058-278-2702

令和5年度森林サービス産業研修会 「森林資源を活用した事業づくりを考える～大人のマナビバ～」を開催します

岐阜県では、山村地域の活性化を図るため、豊かな価値を有する森林空間を健康、観光、教育等の多様な分野で活用する「森林サービス産業」の推進に取り組んでいます。

この度は、「ぎふ森のある暮らし推進協議会」と連携して研修会を開催します。

森林資源を活用した事業づくりについて知りたいと考えている方や、屋外での企業研修、組織づくりなど、大人の学びに関するソフト事業について興味のある方を対象として実施します。

記

- 日 時** 令和5年9月12日(火) 13:30～16:15 (13:00受付開始)
- 場 所** 岐阜県立森林文化アカデミー<森の情報センター> (美濃市曾代88)
- 内 容** 「森林資源を活用した事業づくりを考える～大人のマナビバ～」
講師：有限会社きたもっく 事業戦略室 室長 つちや 土屋 けいいちろう 慶一郎 氏
13:30～15:00 座学
15:00～15:15 休憩
15:15～16:15 交流会及び屋外での学び実践体験
※内容や時間については変更する場合があります。
- 出席人数** 20名(予定)
- その他** 一般参加者の申し込み受付は終了しております。
報道関係者におかれましては、事前の取材申し込みは不要です。

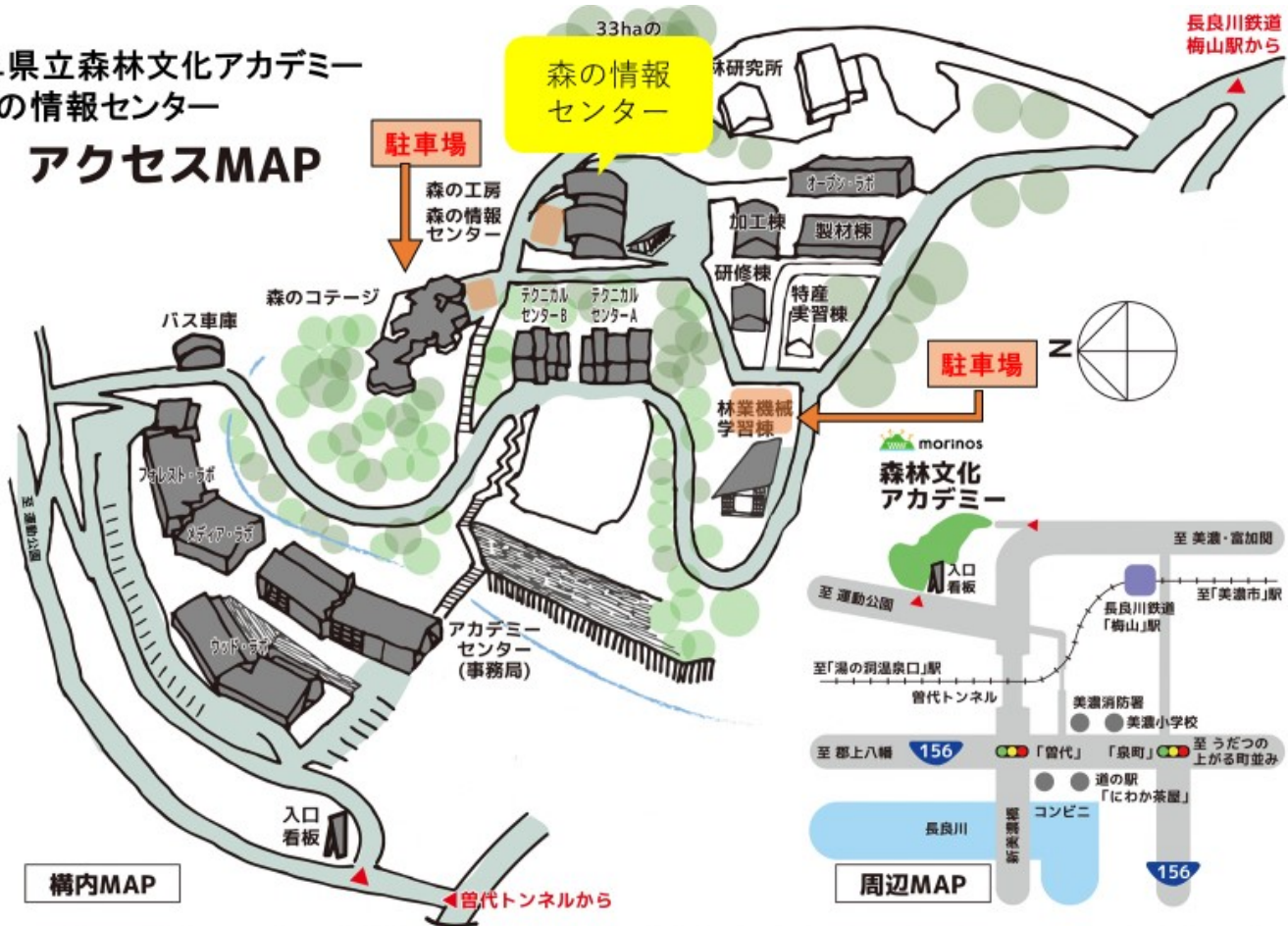
<土屋 慶一郎氏のプロフィール>

有限会社きたもっく 事業戦略室 室長、株式会社 Nuage 代表取締役
名古屋大学中退後すぐにゼロからの事業創造に携わり、七転八倒しながら事業を立ち上げる。その後、多様な企業の経営、事業戦略立案、新規事業創造、人材育成等に携わる。2016年以降は浅間北麓を拠点に、きたもっくの掲げるビジョンに共鳴し、フィールド事業から地域資源価値化事業、地域未来創造事業体への歩みを支える役割を担う。地域未来を創造しうる「しなやかなコミュニティ/事業体」の形成を目指し、そのプロセスを大切に、日々試行錯誤している。



岐阜県立森林文化アカデミー
森の情報センター

アクセスMAP



構内MAP



周辺MAP

長良川鉄道
梅山駅から

33haの
森の情報
センター

駐車場

駐車場

森の工房
森の情報
センター

バス車庫

森のコテージ

テクニカル
センター-B

テクニカル
センター-A

加工棟

製材棟

研修棟

特産
実習棟

林業機械
学習棟

morinos
森林文化
アカデミー

アカデミー
センター
(事務局)

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

フレックスタイム
ビル

管代トンネルから

至 運動公園

至「湯の洞温泉入口」駅

至 郡上八幡

長良川

管代トンネル

至 美濃・富加間

至「美濃市」駅

美濃消防署

美濃小学校

道の駅
「にわか茶屋」

コンビニ

156



至うだつの
上がる可並み

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」

「管代」 「泉町」